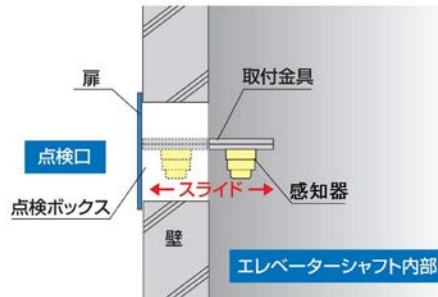


エレベーターシャフトに設置した点検ボックス内煙感知器の点検について

エレベーターシャフト内に転落する等の事故に端を発し、シャフト内設置機器に対する設置基準が強化されました。自動火災報知設備として、煙感知器点検ボックスが設置されていますが、点検時にエレベーターを停止させて点検を行うことの徹底、点検のために点検ボックスの扉を開けるとエレベーターが停止するスイッチを設置することが法制化されました。



※点検ボックスの扉を開けるとエレベーターが停止

もしエレベーターを停止させずに点検口（点検ボックスの扉）を開けた場合は、エレベーターが緊急停止し、事故等の発生が予測されます。

煙感知器点検時の留意事項

- (1) 点検対象物件にエレベーター停止装置が設置されているかを事前に確認すること。
(既存の物件は、法的には遡及はしないが、停止装置が設置されている場合もある。)
- (2) エレベーター停止措置は消防設備点検者では出来ないので、事前に建物関係者（お客様）と十分な打合せと確認をすること。
- (3) 点検時には、お客様にエレベーターの停止措置をしてもらい、完全に停止していることを確認してから点検をすること。また、点検前にエレベーター管理会社に連絡してもらう。
- (4) 点検終了後はお客様へ連絡し、必ず元に戻してもらうこと。
点検後もエレベーター管理会社に連絡してもらう。

< 関係法令 >

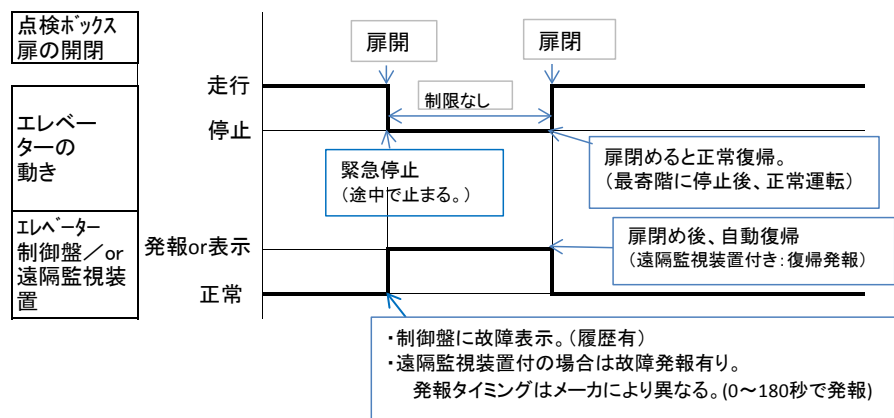
- ・「建築基準法施行令」第129条の8第2項第二号
- ・国土交通省第1454号(H20.12.10)
- ・施行日:平成21年9月28日着工(杭打ち)の建築物より適用

※点検ボックスの扉開閉時における一般的なエレベーターの動作状況を次ページに示します。

点検ボックスの扉開閉時における一般的なエレベーターの動作状況

※下記の動作と異なるエレベーターもありますので、詳細は管理会社等に確認してください

1-1. 走行中に扉を開/閉した時のエレベーターの動作



(1) エレベーターの動作状況

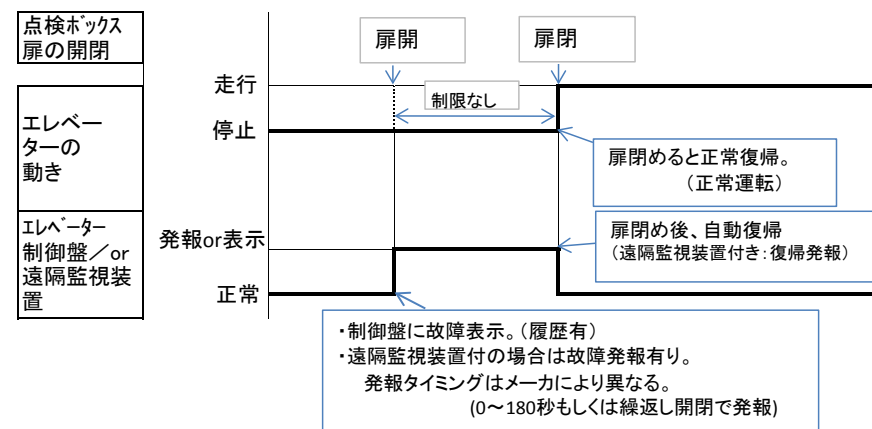
- a) 走行中に扉を開けるとエレベーターは緊急停止する。(最寄階には止まらない。)
 - ・扉を閉めるまで停止状態が継続する。
 - ・行き先ボタンは、各社機能に違いがあるが、一般には消灯(キャンセル)する。
 - ・エレベーター内の照明は、点灯状態を継続する。
- b) 扉を閉めると、正常復帰する。
 - ・エレベーターは最寄階に停止後、正常運転に戻る。

※ 最寄階とは: 運転方向(アップまたはダウン)で停止可能な一番近い階を言う。

(2) エレベーター制御盤/遠隔監視装置の動作状況

- a) 扉を開けると制御盤に故障表示が出る。(故障履歴情報有り。)
 - ・遠隔監視装置付の場合は、各メーカーのコールセンター、または防災センターへ故障(異常)発報が送信される。発報タイミングはメーカーにより異なる。(0~180秒で発報。)
- b) 扉を閉めると、自動復帰する。

1-2. 着床中(各階に停止中)に扉を開/閉した時のエレベーターの動作



(1) エレベーターの動作状況

- a) 着床中に扉を開けるとエレベーターは停止状態を継続。
 - ・行き先ボタンは、一般には押した時点灯するが、手を離せば消灯する。
- b) 扉を閉めると、正常復帰する。(正常運転)

(2) エレベーター制御盤/遠隔監視装置の動作状況

- a) 扉を開けると制御盤に故障表示が出る。(故障履歴情報有り。)
 - ・遠隔監視装置付の場合は、各メーカーのコールセンター、または防災センターへ故障(異常)発報が送信される。発報タイミングはメーカーにより異なる。(0~180秒で発報。)
- b) 扉を閉めると、自動復帰する。

2. エレベーター保守員が出勤するケース

- a) 遠隔監視装置付きの場合は、異常(故障)発報した時、状況確認のうえ出勤する。(状況確認中に復帰を行えば時間的に出勤しない場合もありうる。)
- b) 遠隔監視装置がない場合は、インターホン等による閉じ込め連絡で出勤。

緊急時の連絡先はエレベーターのカゴ内や乗り場に銘板が貼られている。
管理人常駐現場は管理人に連絡となる。